

熊退教協 ニュース

2025年3月21日 第三十一回友好の会城北大会を終えて

一年間頑張ったことが出来ました

城北退教協 中島 高松



歓迎の歌の後、「緑の山河」の大合唱が始まった「友好の会」城北大会への参加、大変ありがとうございました。

サール条約に登録されたことを中心に、構成していくことになりました。早速、台本作りに取り掛かって貰いました。

十一月に出来上がった台本名は「荒尾干潟物語二〇二五年バージョン」です。そうなる

と自然に、踊りは愛嬌ある「むつごぼん」で一致しました。その踊りの第一人者に振り付けの説明から指導して貰い、練習を始めました。

見た目は違っても、練習を始めてフラフラ、息はゼーゼーで、とても歩いて行けず、リタイアする人も居ました。

劇ではセリフを間違えたり、飛ばしたりで、みんな思わず笑い出してしまったものでした。会の前日、急に出演者が一人欠けてしまう出来事もありました。

当日は二役をこなして貰い、臨機応変に対応したことも、いい思い出になりました。

アンケートには、「荒尾干潟のことが良く分かり、行ってみたいになりました」との意見がいくつもありません。

参加型の大会にしたいとの要望もあり、その働き方改革が進んでいると

は言い難い状況です。長時間労働の是正、教職員定数の改善、教育予算の拡充など、山積する政策課題に直面しています。

減のスローガン「教職を再び戦場に送るな」に象徴される、教育の平和的使命があります。子どもたちの命と未来を守る教育を実現するため、私たちは声を上げ続けなければなりません。

熊本市教職員組合は、熊退教協の皆様と連帯し、平和と民主主義に根ざした教育の実現に向け、これからも歩を進めてまいります。

子どもたちの命と未来を守る

熊本県教職員組合委員長 村枝哲弥

熊退教協の皆さまにおかれましては、長年にわたり熊本の教育を支えてこられたご尽力に、心より敬意を表します。

さて、昨年6月に給特法等の一部を改正する法律が成立しました。教育調整額の引上げや業務量管理・健康確保措置など長時間勤務の是正や教職員の処遇改善に向けた一歩でありましたが、残念ながら、現場において「実感の持て



城北のみなさんの合唱でスタート



荒尾干潟物語2025の一場面 踊り「むつごぼん」



城北のバンド演奏に合わせて歌う



「戦争と平和展」を取り組んで

八代退教協会長 沖田芳樹



戦後80年の今年、桜十字ホールで12月9日、15日まで開催されました。退教協の先生方15名に大変お世話になりました。

会場には、戦時下の遺品、また、当時の子どもたちや一般家庭の様子が見られる展示物が並びました。学校掲示用の戦意高揚の大ポスター、子どもたちの習字、絵、服、戦時色に塗り固められたその品々。期間中400名を超える来館者でした。

主な展示物は、教師を辞められた後、収

に考えたりして良かったと思います。交流会では、菊池地区や熊本地区の合唱を初め、各地区の紹介などで会場を盛り上げてくれました。久しぶりの対面で、顔は覚えていたがなかなか名前が出ず、お互いに名前を尋ね合ったりもありました。最後の「団結がんばろう」は、全員で輪になり元気よく締めくくることが出来ました。そして、夜遅くまで続いた第二部の交流会、本当に楽しく過ごせました。

不慣れなスタッフばかりで、何かと行き届きの点があつたかと思いますが、自分たちの

できる限りの情熱をぶつけた大会でした。大会を支えて下さった関係者や参加して頂いた皆様方に厚く御礼申し上げます。来年は熊本市地区の開催です。旧友との再会を楽しみにしています。

また、期間中に山本隆英さん(退教協会員)と中嶋隆利さん(元国会議員)のお話がありました。お二人の話は、今まさに日本は戦争に向かっているのではないかと、という心配の声でした。「今ならまだ戦争反対と言えるが、そのうち言えなくなる。その前に言わんといかん。行動せんといかん」と強いメッセージをいただきました。

若い人たちの来館が少なかったのが残念でしたが、「子どもたちを二度と戦場に送らない」という日教組スローガンのもと行動していかなければと強く思うところでした。

参加者の感想から

○さわやかな歌声で、和やかに、楽しく始まりました。○荒尾の干潟について楽しく知ることができた。こんなにも鳥たちがやって来ていると、だど初めて知った。○鳥を守った話、感動しました！川柳、おなががよじれ、最高に笑いました。最後の歌、心に染み入りました。○会場も広々としていて、ゆったり過ごせました。○毎年楽しみにしている会員もいますので、楽しいお出かけとなりました。○全員で手をなぎ輪を作った気分、最高でした。○スタッフのみなさん、本当にこころうさまでした。とても気持ちよく参加できました。○お疲れさまでした。GOOD×10！

熊退教協ニュースは、パソコンでもスマホでも「閲覧できるようにしました」。「熊本市教職員組合」のホームページよりお入りください。

春は総会

- ☆上益城 4月15日(水) 11時 上益城教育会館
- ☆宇城 4月18日(土) 10時 宇城教育会館
- ☆人吉球磨 4月24日(金) 10時 人吉球磨教育会館
- ☆阿蘇 5月9日(土) 10時半 一宮分区分公民館
- ☆鹿本 5月15日(金) 11時 山鹿勤労福祉会館
- ☆菊池 5月16日(土) 9時45分 菊池中央公民館
- ☆水俣・芦北 5月21日(木) 11時 うめのや
- ☆八代 5月23日(土) 10時 八代教育会館
- ☆天草 5月30日(土) 10時 天草教育会館
- ☆熊本市 5月30日(土) 10時 県教育会館
- ☆城北 6月6日(土) 10時 岱明町ふれあい健康センター

おめでとうございます

これからもお力添えをお願いします

白寿(99歳)

(城北)上田和子、立山キヨノ
水本トシ子

(阿蘇)俵和子

(熊本)本田アツミ

(人球)田原ハツメ、久保田七夫

卒寿(90歳)

(城北)小山淑子、高木伸枝、川口晃
野方陽子、中田芙美子、坂本良臣

(阿蘇)鈴木貴美子、齋藤澄男

(阿蘇)小松幸子、光永文代

川端忠義

(熊本)藤本和子、中西宣卓

牧野啓臣、井山一子、富永暉子

寺本至孝、荒木みさ子

(上益城)栗山紀美子、上村益穂

(宇城)串山教子、古田忠士、右山剛

(八代)橋本久美子、丸日照美

村内一誠、賀来恒夫、濱節子

(人球)田畑一陽、豊永芳子

服部正志、濱田修身、福島節子

前川慶子、横井晏子

(水戸)庵千沙、福永治雄

島田美和喜

(天草)池田幸枝

傘寿(80歳)

(城北)今田智子、齋田秀利

(菊池)村下洋一

(阿蘇)橋本信子、藤岡ミキ

中村千和子

(熊本)福田瑞枝、児玉邦昭、岡本博

鈴木正美

(宇城)林田征子、西永静、大澤和子

(八代)小山幸枝、沖田百合子

西村民雄、松岡憲一

(人球)木村恵子、関根喜美子

倉本保子、丸目羊子

熊退教協では今年、白寿の方7名、傘寿の方39名、傘寿の方21名をお祝いすることができました。これからもお元気で、活躍ください。

第十回熊本市退教協文化発表会

自由自在・多様な芸・面白が!

熊本市退教協 坂本道子



展示の部は教育会館ロビーで11月2日から約一ヶ月の開催。絵画、工芸、さをり、古文書の紹介、生け花、野焼き体験記など多岐に渡る作品が、会場いっぱい並びました。

発表の部は29日(土)に会議室にて、27人の参加でした。まずは全員合唱から、「イムジン河」他三曲を歌いました。伴奏は幹事会有志。大久保弥生さんのお孫さんも打楽器で参加してくれて場が和みました。また飛び入りの助っ人も登場し、十人越えの大楽団が誕生。様々な音色が響き合いました。

最初は、仲本千恵子さんによるフラダンス。「小さな真珠貝の歌」他を披露。黒地に真っ赤な花模様衣装は、山本玲子さんから譲り受けたものだそうです。山本さんは、前列から笑顔で見守っておられました。次は山本さんです。「草津節」他の手遊び歌を教わり、みんなで楽しみました。

最後は、辛島清さんの尺八演奏。「雲井獅子」他四曲を披露。自作のギター伴奏録音に合わせた「イェスタデイ」は、和と洋が溶け

合う美しいサウンドでした。尺八体験も辛島さんが企画し道具も準備してくれました。プラスチック尺八の音出しは難しかったですが、肺活量は少しアップしたかもしれません。



上：山本さんの歌に合わせ両手を上げて手遊び。背筋が伸びました。左：尺八体験。音が出なくて出ません。後ろの展示物はさをり織り作品

最後に、参加者の感想を少しだけですが紹介して、報告を終わります。

* 仲本さんの優しいお顔と手の動きに見とれました。

* 一芸に秀でるは多芸に通ずですね。

* 次回も参加できるように健康でいましょう。

3月5(日) 九プロ沖縄大会

会員同士の繋がりをそして次の世代へ

事務局次長 藤本直子



第三分散会で天草地区の鬼塚昭美さんが、「退教協の力を結集し開催した友好の会」について報告されました。分かりやすく優しい文章

の中にも、会員のみなさんの真摯さ、熱気が伝わってくる報告でした。また、「天草退教協の現状と課題」については、会員数の減少、運営予算の減少等課題は多いが、昔培ったなかまとの絆や志はいつまでも大切に。平和を求め命、人権を守り、安心して暮らせる社会づくりのため、退教協としてできることを模索しながら、役員

会員のみなさんと協力して運営していきたいと締めくくられました。参加者からは、「友好の会はいくつの地区で受けていて、参加者は何人ぐらいか」「年6回の例会をそれぞれ何人ぐらいいか」「年6回の例会をそれぞれ何人ぐらいいか」等の質問がありました。

この分散会他に福岡、長崎、佐賀からの報告があり、テーマはどのようにしたら会員同士が繋がっていくのか、次の世代、繋げていくのか、でした。通信(たより)は人と人を繋ぎ、次の人へも繋がる。書く人は自己表現できて元気になるし、読む人の活力、心の栄養にもなる。行事等に



昭和38年8月

卒寿(90歳) 人吉球磨 横井晏子

私は昭和11年、転勤族の子として、ソウルで生まれました。南大門国民学校に入学し、3年生の8月終戦。その年の11月10日小川の母の実家に家族5人引揚げて来ました。小川の小学校に小4まで、小5から父の仕事の関係で、水俣の学校へ。

そこで高校まで通いました。大学卒業後、水俣一小に就職し、その後、縁あって人吉球磨へ。郡市内の小中学校に勤務しました。

その中で最も印象深いのは、協会の役員も退きましたが、退教協の行事には、これからも極力参加するつもりです。



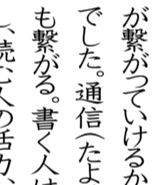
昭和38年8月

卒寿(90歳) 水俣 芦北 庵千沙

私は先日89歳の誕生日を迎え、17日の大水害。三浦小の校舎が流失しました。当時私は三浦小の近くに住んでおり、現場に居合

お世話になった医師の方は、国の命令で、その後軍医になるため人吉を離られたとのこと。船で移動される時に亡くなったと聞き、大変驚き、悲しかった。戦争さえなかったら、沢山の人の助けられた先生だったろうにと。

助けてくださった先生のために



昭和38年8月



教職員生活を送る

教職員生活を送る 教職員生活を幅広くサポートする共済を知ってほしいから お身内の教職員の方をご紹介ください! 教職員共済は、厚生労働省の認可を得て共済事業を営む職域唯一の共済生協です。学校関係にお勤めであればどなたでもご加入いただけます。 〒862-0976 熊本市中央区九品寺 1-11-4 教育会館 2階 TEL: (096) 372-1311

主な行事予定(4月~7月) ☆日退教代表者会 6月19日(金)日本教育会館 ☆地区会長・女性代表者会 7月1日(水)13時 県教育会館 編集後記 編集委員になって一年が経過しました。最近やつと仕事の仕方がわかってきました。まだまだ戸惑うことが多々あります。それでも各地区からの報告を今まで以上に興味を持って読ませてもらっています。また、原稿依頼についても快く引き受けていただき感謝しています。日本だけでなく世界中が混沌として正に戦前の様子を呈していますが、私は平和を希求する心と行動を忘れないで、前に進んでいきたいと思っております。 今後ともよろしくお願ひします。(編集委員 田中洋)